

〒751-8510 山口県下関市大学町二丁目1番1号

TEL:083-252-0288 (代表) FAX:083-252-8099

URL:http://www.shimonoseki-cu.ac.jp/

件 名				
全国複数大学等、複数企業による「リモートインターンシップ」の実施について				
内 容				
<p>下関市立大学では、全国17大学等、15企業と協働し、リモートインターンシップを実施いたします。これだけの規模の大学等と企業が連携し、実施するケースは日本で初めてだと思われます。参加学生数は62名を予定しています。本学では株式会社松岡（本社：下関）と一緒に参加いたします。</p> <p><b>【特色】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 企業が実施する就職・採用活動とした内容ではなく、大学と企業が目的を共有した協働プログラム</li> <li>○ 個別の業界、企業の理解を目的とするのではなく、with コロナの社会における生き方、働き方を考えるキャリア教育の要素を中心とした内容</li> <li>○ 参加社員の人材育成の観点も取り入れ、社員（企業）学生（大学）双方にメリットをもたらす内容</li> <li>○ リモート（遠隔）であることのメリットを最大限に活かし、地域を超えた複数大学、複数企業が協働実施することで、これまで接することのできなかつた学生、企業、大学と接することが可能</li> <li>○ 参加大学の担当者は、「CIAC 認定インターンシップコーディネーター※」であり、インターンシップに関しての経験、知見を保有し、専門的な立場で関わることで、高い教育的効果を生み出すことが可能</li> </ul> <p>※「CIAC 認定インターンシップコーディネーター」とは文部科学省が提示するインターンシップ専門人材の能力、育成枠組みに則り、独立行政法人日本学生支援機構と CIAC が共同で構築した研修プログラムを修了した専門人材です。</p> <p><b>【実施日程】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①社員事前オリエンテーション研修：8月20日（木） 13:00～17:00</li> <li>②学生事前学習：8月29日（土） 10:00～16:00</li> <li>③就業実習：9月2日（水）～10日（木）の3日間 株式会社松岡：9月3日（木）7日（月）9日（水）の3日間</li> <li>④学生事後学習：9月12日（土） 10:00～16:00</li> <li>⑤社員フォローアップ研修：9月15日（火） 13:00～15:00</li> </ul>				
問い合わせ先・担当者連絡先				
学務グループ長	キャリア支援班長	担当者	連絡先	
ながた かよ	うえの めぐみ	うえの めぐみ	083-252-0288	
永田 佳世	上野 恵美	上野 恵美		
提出日	2020年8月26日	広報連絡先 (経営企画班)	Tel.083-254-8707	koho@shimonoseki-cu.ac.jp

No	企業名	就業体験日程			担当大学名
		1日目	2日目	3日目	
1	(株)ハミングバード・インターナショナル	9/2(水)	9/3(木)	9/4(金)	東北福祉大学
2	株式会社アイテム	9/2(水)	9/3(木)	9/8(火)	大手前大学
3	(株)美里花き流通グループ	9/2(水)	9/7(月)	9/9(水)	愛知みずほ大学
4	ワタキューセイモア株式会社	9/2(水)	9/3(木)	9/4(金)	京都産業大学
5	株式会社WAO STYLE	9/2(水)	9/7(月)	9/8(火)	山野美容芸術短期大学
6	株式会社ストライプインターナショナル	9/2(水)	9/3(木)	9/4(金)	埼玉女子短期大学
7	株式会社 マツオ	9/3(木)	9/7(月)	9/8(火)	北翔大学
8	株式会社松岡	9/3(木)	9/7(月)	9/9(水)	下関市立大学
9	株式会社ティ・ジョイ	9/3(木)	9/8(火)	9/9(水)	デジタルハリウッド大学
10	株式会社八芳園	9/3(木)	9/7(月)	9/8(火)	山野美容芸術短期大学
11	株式会社ホクエツ信越	9/3(木)	9/8(火)	9/10(木)	新潟大学
12	リコージャパン株式会社	9/3(木)	9/4(金)	9/7(月)	湘北短期大学
13	エイジェックグループ 株式会社 エイジェックキャリア	9/7(月)	9/8(火)	9/9(水)	鶴見大学
14	株式会社カスタム	9/7(月)	9/9(水)	9/10(木)	尾道市立大学
15	株式会社スティーブアスタリスク	9/7(月)	9/8(火)	9/10(木)	東北学院大学

## 「CIAC リモートインターンシップ」実施企画案・参加のご案内

一般社団法人産学協働人材育成コンソーシアム(CIAC)では、新型コロナウイルスの影響で従来のインターンシップが中止となっている状況において、リモートインターンシップの実施に向けて準備を進めてきました。

リモートインターンシップに関心を持ち、前向きに取り組もうとしている「CIAC インターンシップコーディネーター」の方々のご協力を得ながら、以下のような内容で実施することとなりました。

今年度は、小規模で試行的に実施するため、2018年度、2019年度の「CIAC インターンシップコーディネーター」の方々のみご案内をしています。

以下の内容をご理解いただき、ご関心があれば、是非、ご参加ください。

### 1. 「CIAC リモートインターンシップ」の実施の背景と基本的な考え方

- 新型コロナウイルスの影響により、多くの大学で従来型のオフィスインターンシップが中止となっています。その代替プログラムとして、大学側はリモートインターンシップを模索し始めていますが、「従来のインターンシップでの成果や教育効果を代替手段でどう担保するかが見通せない」等、実施に向けて解決すべき課題が多いのが現状です。(2020年5月に実施したCIAC「インターンシップ実施に関する緊急アンケート調査」より)
- 一方、企業側では新型コロナの影響による採用活動の停滞、見通しの不透明さから、採用活動が早期化し、「採用活動としてのインターンシップ」の色合いがますます強くなってきています。しかし、その内容は、業界・企業説明、社員との座談会、課題解決の検討・発表といった、これまでの「ワンデー・インターンシップ」と変わらないものが多いのが実態です。今後、企業での働き方も、オフィスワークとリモートワークのハイブリッドに移行すると思われます。採用活動においても、オンラインでの企業説明、面接等は活用されることでしょう。このような状況において、企業、大学ともにリモートでのインターンシップに無縁ではられません。
- このような背景のもと、CIACでは、海外での現状、情報も収集し、インターンシップ専門人材の協力を得ながら、リモートインターンシップの開発、実施に向けて準備を進めてきました。CIACとしては、リモートインターンシップを従来型のオフィスインターンシップの緊急避難的プログラム、代替プログラムとしてではなく、今後も継続的に実施されるインターンシップの一形態としてのプログラムとして位置付けています。そのためには、インターンシップとして保有しておくべき、大学教育、キャリア教育として意義、職業意識、キャリア意識、基礎的・汎用的能力の育成といった機能を組み込んでおく必要があります。
- 今後、企業においても、大学においても、多様なインターンシップが展開されていくことが予想されます。混沌とした状況であるがゆえに、“先に言ったもの”“先にやったもの勝ち”的なところがあり、本来のインターンシップの役割を見失っていく恐れもあります。そうならないためにも、今後、リモートインターンシップが一つのプログラムとして成立していくのであれば、参考とすべきモデルプログラムが必要であると考え、リモートインターンシップの一つのあり方として提示していきます。

## 2. 「CIAC リモートインターンシップ」の特長（大事にしている点）

- 企業と大学が協働して実施する教育プログラムである（結果として採用につながることは構わない）
- 企業（社員）、大学（学生）、それぞれにメリットをもたらす
- インターンシップとして重要なキャリア教育の要素を含んでいる
- 教育プログラムとして事前・事後学習を実施する
- 「インターンシップ専門人材」の経験、知見を活かすことで、学生、社員に高い教育的効果をもたらす
- リモート（遠隔）であることのメリットを最大限に活かし、地域を超えた複数大学、複数企業が協働して実施する

## 3. プログラム概要

### 【到達目標】

- ① 本プログラムは、個別の業界、企業の理解を深めることが目的ではなく、卒業後の進路選択をする上での土台となる自らの生き方、働き方、仕事に求めること等の自身のキャリアを考える重要性を理解できる
- ② リモートワークという新しい働き方を理解し、そこで求められる能力、態度、意識を理解し、今後の大学生活で何を身につけるべきかを理解できる
- ③ 他大学の学生、自大学では得られない企業での経験を踏まえることにより、価値観を広げ、選択肢を増やし考えることができる

### 【日程：合計 4 日間】

- ① 社員対象：オリエンテーション（半日：3h）
- ② 学生対象：事前学習（1日：4h）
- ③ 社員・学生対象：リモート就業実習（3日）
- ④ 学生対象：事後学習（1日：4h）

#### ①社員対象：オリエンテーション（半日：3h） 8月18日（火）～20日（木）のどこか半日

- ・ プログラムの目的・狙い、期待、準備すること
- ・ 業界、企業説明のポイント（学生は何を聞きたいのか、知りたいのか）
- ・ 社員の語り（仕事、働く、キャリアビジョン、理念等について）
- ・ リモートワークをどのように捉えているのか、本質は何か、学生にどのように説明するのか

#### ②学生対象：事前学習（1日：4h） 8月29日（土）10:00～12:00 13:00～17:00

※事前学習の日時は決定となっています。

- ・ 参加全学生で合同実施
- ・ アイスブレイク、「私の大学を魅力的に紹介する!!」（事前課題として、同一大学の学生が共同で作成）
- ・ with/after コロナの社会、働き方
- ・ 「リモートワーク」という働き方、新しい働き方で求められる能力、態度、意識
- ・ リモートインターンシップでの目的・目標

- ・ リモートインターンシップで必要な意識、態度、マナー
- ・ 「自分プロモーション動画を作成する!!」の作成方法、ポイントを学ぶ
- ・ 終了後に、学生、社員、教職員が参加してのリモート懇親会を開催

### ③社員・学生対象：リモート就業実習 3日間 9月2日(水)～10日(木)のどこか3日間

※参加企業と調整し日程を決定します

#### [1日目]

- ・ 業界説明・企業説明(事前オリエンテーションでの内容を踏まえる)
- ・ 教職員も参加し、フィードバックする。(フィードバックシートを活用)
- ・ 社員の語り：働く意義、仕事とは、キャリアビジョン(事前オリエンテーションの内容を踏まえる)
- ・ 社員の語りを受けて学生との対話
- ・ 社員の語りを受けて、学生が同じテーマで考え、発表
- ・ 社員、学生それぞれがテーマを深めるための対話

#### [2日目]

- ・ 課題提示。課題の内容は、業務課題、学生のアイデア発想、リサーチ…等々、各社に任せる。課題を決めるに際して、担当大学は相談に応じる。
- ・ 学生の進捗状況を適宜、社員とやり取り。
- ・ 1日の業務量でのアウトプットの達成レベルを学生に実感させる。リモートワークの現実を体感させる(家でのんびり仕事をするのがリモートワークではないということ) リモートワークの本質を学生に教え、理解させることで、社員の理解も深める
- ・ 学生とのやり取り(メールの書き方、タイミング等)で、マナーの実際を知る。社員は、単にこうしろ、ああしろ、ではなく、なぜそうするのかといった意味まで含めて説明してもらう

#### [3日目]

- ・ 課題に対して発表
- ・ 社員、他の学生との振り返り
- ・ 全体での共有、クロージング

### ④学生対象：事後学習 (1日:4h) 9月12日(土) 10:00～12:00 13:00～17:00

※事後学習の日時は決定となっています。

- ・ 目的・目標の達成度合い
- ・ リモートワークという働き方の認識
- ・ 新しい働き方で求められる新たな能力、態度、意識と自分の現状
- ・ 今後の大学生活の過ごし方、就職活動への取組方針
- ・ 自分はどのように働きたいのか?
- ・ まとめ

## 4. 学生、社員、大学、企業のメリット

### 【学生】

- 「リモートワーク」という働き方を理解することができる
- 他大学の学生と接することで価値観、視野、選択肢が広がる
- 所属大学では得られない業種、企業での体験が得られる
- 進路選択の土台となる今後の生き方、働き方について考えることができる

### 【社員】

- 今後のキャリアのあり方について考えることができる
- 自身の業務を客観的に捉えることができる
- 学生へ説明する際に重要なポイントを理解することができる

### 【企業】

- これまで接することがなかった属性の学生と接することができる
- 大学と協働し実施することで魅力のあるプログラムを構築するヒントが得られる
- 社員研修の要素が含まれるため人材育成につながる
- 大学教職員から本音でのフィードバックを得られる

### 【大学】

- 学生に提供できるプログラムが増える
- 新たなプログラム構築のヒントが得られる
- これまで接することがなかった企業と接することができ、学生の進路の選択肢を増やせる

## 5. 参加の条件(留意点)

- リモートインターンシップは、誰もが初めての経験です。参加する学生、社員、教職員、全員で協力し、作り上げていくことが大前提となります。
- 今回は、試行的実施ということで、最大 10 大学50人程度、10企業程度で実施します。1 大学あたりの参加学生は 5 人程度になります。
- 参加する大学の条件として、参加企業 1 社を連れて来てください。学生、企業、大学のパッケージで参加することが原則となります。自大学の学生、企業については、当該大学が責任を持って対応してください。
- 参加大学の教職員は、事前・事後学習、リモート就業体験の 1 日目(半日程度)・3 日目(半日程度)には必ず参加しフィードバック等の役割を担っていただきます。
- 参加の受付は基本的に先着順となります。地域、属性等に偏りがある場合は調整させていただく可能性がありますのでご了承ください。
- 参加企業については、当該大学からプログラムの趣旨を十分に説明し、社員対象事前オリエンテーションに参加していただくことが条件となります。社員の目線、レベル合わせはとても重要です。



- 大学としての(組織として正式の)参加でなくて構いません。正課・正課外は問いません。例えば、ゼミの学生、知っている学生・企業に声をかける、ということも構いません。

## 6. 今後のスケジュール、申込等

7月10日(金)頃まで 参加希望の受付	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 内容については案ですので、ご意見、ご要望があればお伝えください。但し、日程については変更ができません。</li> <li>・ <u>参加を希望する場合は、まずは松高までご連絡ください。</u></li> <li>・ <u>参加企業、学生が確定できていない、学内で合意が取れていない等の保留状態でも構いません。</u></li> </ul>
7月17日(金)頃まで 参加大学の決定	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 参加企業、学生等の準備状況に応じて、順次、参加大学を確定していきます。</li> <li>・ この時点で定員になりましたら、お断りする場合がありますのでご了解ください。</li> </ul>
7月31日(金)まで 参加社員、学生の確定	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 参加する大学、企業、学生、社員の最終的な確定します。</li> <li>・ 参加する企業、学生への準備事項等の案内をお願いします。</li> </ul>

本年度は試行的に実施するため、内容等に変更が生じる可能性がありますことをご了解ください。

本プログラムに関するお問い合わせ、参加申込先

一般社団法人産学協働人材育成コンソーシアム  
代表理事 松高政 (京都産業大学経営学部准教授)  
メール:matsutaka@cc.kyoto-su.ac.jp